

国 語

令和三年度入学試験問題

受験上の注意

- 一、監督の指示により、受験する科目の解答用紙を使用してください。
- 二、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナを記入し、受験番号および該当する試験日をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
- 三、問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
- 四、国語の問題は、選択問題があるので、下記の【表】の指示に従い解答してください。
- 五、国語の問題は、二～三十九ページにあります。試験開始の合図があったら、まずページ数を確認してください。
- 六、試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
- 七、質問、その他用件があるときは、手を上げて合図してください。
- 八、試験時間中の退場は認めません。
- 九、試験時間は六十分です。
- 十、この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

【表】 下記の印に従って解答してください。

	共通問題	一	二	選択問題	三		
		(現代文)	(現代文)		ア (現代文)	イ (古文)	ウ (漢文)
○印… 必答 △印… いずれか一つ を解答してください							
全学部		○	○		△	△	△

一次の文章を読み、後の問に答えなさい。

(1) 高村光太郎は「北原白秋の『思ひ出』」で「『思ひ出』は、近頃続出する追憶文学の中で特にイサイを放つてゐる」と評したが、日露戦後の文学の底流にはたしかに追憶文学の流行ということがあった。

(中略)

それ以前にはわずかに泉鏡花や国木田独歩に幾篇かの追憶的な作品を認めることができるが、この時期にこれほど多くの作家が好んで追憶にふけり、こうした作品が集中的に書かれるとはどういうことなのであろうか。いうまでもなく追憶とは一種の退行現象であり、前途に自己実現のための明るい希望を有し、夢にみちあふれた将来の展望に支えられて生のエネルギーが盛んに燃焼している最中には見られるべきはずのものではない。(中略) 日露戦後の明治四十年代が追憶の色に染めあげられるということは、それだけこの時代が石川啄木いしかわたくものいう「時代閉塞の現状」のもとにあえぎ、出口のない暗鬱あんうつな気分(イ)に閉ざされていたことをシヨウすことにもなるが、冒頭に引いた一文につづけて高村光太郎は次のようにいう。

多くの矛盾と、重圧とに堪へきれない今の世の空気の中で、追憶は一種の避難所である。風に当る露台バルコニーである。一時的のレフレッシユメントではあるが、文芸が、時に眼前の世界から遁のがれて、追憶に足を入れるのも止み難い傾向であらう。青簾すだれを透して、日光を見るやうな美しい世界は、追憶の情操の中に容易く見出されるのである。

高村光太郎は追憶文学の流行に、「多くの矛盾と、重圧とに堪へきれない」時代閉塞下における「避難所」としての意味を見出し、時に懐かしく甘美な追憶の世界への逃避も止むを得ないものとしている。が、ここで見誤つてならないのは追憶という言葉の甘い響きに惑わされて、追憶文学から「青簾を透して、日光を見るやうな美しい世界」に対する憧れのみをイメージしてはならぬということである。⁽³⁾ 、永井荷風の「狐きつね」は純心な幼児の眼を通して、父親に代表されるような既成の価値観への深い懷疑

を突きつけ、谷崎潤一郎の「少年」が大人のひからび、こわばった感覚からはもはや窺い知ることできぬ生き生きとした官能的世界を繰り上げたように、往々追憶世界に描き出された幼い子どもたちは、知識や習慣に鎧われた大人の経験的世界を突き崩し、自我という堅い殻をも打ち砕く場合があるのだ。それは追憶ということが常に一面においては過去による現在の(A)化という事実から結果することであり、日露戦後の追憶文学の流行には、他面時代閉塞の外圧に抗しながら、原初的な無垢を堡壘に時代の理性が個人の感受性を抑圧するような世界を(B)化し去ろうとする意志がはたらいていたことも見逃がしてはならないだろう。

上田敏は『思ひ出』の出版記念会で、『思ひ出』を谷崎潤一郎の「少年」「幫間」とともに言葉をきわめて推称したというが、追憶文学としての『思ひ出』のもつ意味もそこから遠いところにあるのではない。『思ひ出』の巻頭を飾る「わが生ひたち」で白秋は、「私は過去追憶にのみ生きんとするものではない。私はまたこの現在の生活に不満足なために美しく過ぎし日の世界に、懐かしい霊の避難所を見出さうとする弱い心からかういふ詩作にのみ耽つてゐるのでもない」と記すが、これを受けるかたちで高村光太郎も『思ひ出』は「過去と現在とが、蜘蛛の巣のやうに縫れ合ひ、雁木のやうに抱き合つて」、その各頁には「現代の人の或る覚醒が、或る開放が、従つて或る寂寥が、トンカ、ジヨンの昔に糾はれて、追憶の神秘のかけに、眼を瞠つてゐる」という。『思ひ出』の白秋は幼き日の追憶をうたいながら、決して現在をないがしろにし、心を過去の美しい世界にばかり遊ばせているわけではない。そこにはたしかに多くの幼時体験が幼年の心を幼年の心として描き出されているが、それらの詩篇は単なる幼時の感覺的官能的経験の詩的記述にとどまらず、(C)化した現実を鋭く切り裂く言語表現ともなり得ているのである。

たそがれどきはけうとやな、

(注7) 傀儡師の手に踊る

(注8) 華魁の首生じろく、

かつくかつくと目が動く……

たそがれどきはけうとやな、

瀉に墮した黒猫の

足音もなく帰るころ、

人霊もゆく、家の上を。

「生の芽生」に収められた「たそがれどき」のはじめの二連であるが、これは白秋の幼少期の体験に深く根差したものらしく、傀儡師、瀉海、黒猫、生胆取など「わが生ひたち」に言及された題材をそのまま多用しており、『思ひ出』のなかでもとりわけ「わが生ひたち」と詩篇との間でみごとな交響をかもしているものの一つである。第一連は秋祭に「何処からともなく漂浪ふて来た傀儡師」が幼児に垣間見せた奇しい世界を描くが、「何時の間にか人々の記憶から掻き消されるやうに」忘れられてしまう大道芸も、幼児の心には、性的頹廢への反発と好奇心を交えながら、「生白い華魁の首」がいまも魂をもつて生きつづける、日常とは隔絶した現実の背後に隠された秘密の世界を、たそがれの薄明りの彼方に幻視させるのだ。傀儡が人間以上に実在感をもつて迫る世界、——それはまさに逢魔時のたそがれどきに一瞬顔をのぞかせる、もはやわれわれの忘れ果てた神秘的な魔の世界であり、その世界を敏感に感受する⁽⁵⁾ []⁽⁴⁾ によって、人形が人形でしかあり得ぬ微温的な日常的現実⁽⁴⁾は否応なく [A] 化され、空無化されずにはおれない。

第二連は「私達の手から残酷に投げ棄てられた黒猫が、黒猫の眼が、ぬるぬると滑り込みながら、もがけばもがくほど粘々とした瀉の吸盤に吸ひ込まれて、苦しまぎれに断末魔の爪を掻きちらした」と語られた体験を踏まえたものだが、またその黒猫のみ込んだ「瀉の不可思議は私らの幼年時代に取つては実に怪しくも美しい何かしら深い秘密を秘めた恐怖と光の魔宮であつた」とも記される。とすれば、瀉に墮され死んだはずの「足音もなく帰る」黒猫とは、秘密多き「魔宮」の妖しの眷属であり、しのびよるたそがれとともに戸外は魑魅魍魎や「人霊」の領する魔界と化するのだ。その時もはやたそがれは単なる現実のたそがれではなく、「何かしら深い秘密を秘めた恐怖と光の魔宮」への通路と変容し、そこから発散する妖しい瘴氣にやはり日常的な現実世界は

色褪せざるを得ない。

第三連、第四連は、あたかも「店の時計がチンと鳴る」のを合図とするかのように、「日さへ暮るれば、そつと来て／生胆取の青き眼が／泣く児欲しやと戸を覗く……」という恐怖感を描くが、家の周りを取りかこんだ魔界の眷属から身を守るにもはや室内とても安全な場所ではない。⁽⁶⁾

だが、この嗜虐的なイメージは幼時の倒錯的な性的快感に深く根を下ろしたもののでもあろう。そして最後に「たそがれどきはけうとやな」のリフレインが繰り返されるが、これが冒頭の一行と同じであっても、まったく異なった位相のもとに置かれたものであることはいうまでもないだろう。この最後の一行によって、これまで後退を強いられつづけてきた日常的現実はずっとくし去られ、いまでは魔そのものと化した、恐怖と恍惚の交錯する「たそがれどき」の圧倒的なイメージが全体を覆い尽くすのである。

『思ひ出』を繙くものは誰しも、半ば埋もれはてた自己の幼時体験の記憶のなかに、白秋のうたいあげた怖れやおののき、やるせない寂しさなどの情感を呼び起しながら、自らの幼年の日々を振り返らざるを得まい。かつてたそがれどきの怪しい気配に怖れを抱き、小さな心臓を顫いおののかさずにおれたものがあつたであろうか。この幼児の原初の⁽⁷⁾な怖れはそのまま読む者の戦慄となって貫き、日常的習慣と経験にこわばった自我の殻を割り、時代の圧力に^(C)化した現実をも再び秘密と未知の怖れに充ちた、生氣あふれるものと甦らせるのだ。たしかにここには高村光太郎のいうようにある覚醒と開放があり、⁽⁸⁾『思ひ出』の詩篇は日露戦後の状況に拮抗し得る現在性をかち得ていたといえようが、「わが生ひたち」の最後に白秋は「私はこの『思ひ出』に依て、故郷と幼年時代の自分とに潔く訣別しやうと思ふ」という。が、その後いよいよ強大化する国家権力の支配体制のなかで、現実世界に背をむけ、おのれ一人の退行的で内密な夢を育むような病める薔薇の咲く大正文学が形成されるが、こうした大正文学成立の基盤を用意したものが、この『思ひ出』や日露戦後の多くの追憶文学であつたことも疑い得ないようである。

(千葉俊二『物語のモラル』問題作成上、一部を改変した)

(注1) 堡壘 とりで

(注2) 幫間 ここでは小説名。語義はたいこ持ち、男芸者

(注3) 雁木 雪の多い地方で軒からひさしを長くつき出して道をおおい、通行できるようにしたもの

(注4) トンカ、ジヨン 北原白秋の幼いころの呼び名。北原白秋の故郷である柳川の方言で長男、お坊ちゃんのこと

(注5) 糾はれて からませるようにして交え合わされて

(注6) けうとやな なんとなく恐ろしいなあ、気味がわるいなあ

(注7) 傀儡師 傀儡(人形)をあやつる芸人

(注8) 華魁 遊女の称

(注9) 生胆取 人の肝をえぐり取るもの。言うことを聞かない子どもへのおどし文句につかわれた

(注10) 眷属 一族、やから

(注11) 瘴気 熱病をおこさせる山川の悪気

(注12) 嗜虐 むごたらしいことを好むこと

問一 傍線部分(I)「高村光太郎」、(II)「石川啄木」の作品をそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(1) 1、

(II) 2。

(I) ① 『月に吠える』

② 『小景異情』

③ 『山羊の歌』

④ 『邪宗門』

⑤ 『道程』

(II)

① 『赤光』

② 『みだれ髪』

③ 『悲しき玩具』

④ 『サラダ記念日』

⑤ 『歌よみに与ふる書』

問二 傍線部分(ア)、(イ)と同じ漢字がつかわれているものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(ア) 3、

(イ) 4。

(ア)

イ|サイ

① 画壇の鬼|サイ

② 体|サイを整える

③ 車両に迷|サイを施す

④ サイ|箸で取り分ける

⑤ ゴシップ|満|サイの記事

(イ)

シ|ヨウ|ウ|す

① シ|ヨウ|諾を得る

② 訴|シ|ヨウ|を起こす

③ 俳優を自|シ|ヨウ|する

④ 時代考|シ|ヨウ|をする

⑤ 比較対|シ|ヨウ|をする

問三 傍線部分(1)「一種の退行現象」とはどのような意味か。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

5。

- ① 大人の価値観を批判するために、幼児の眼や少年の官能的世界を想い起こすこと
- ② 重圧のかかった現在の生活に堪えられず、過ぎ去った美しき日々へと没入すること
- ③ 青籬を透して日光を見るような美しい過去の世界を、日常的習慣によって突き崩すこと
- ④ 現在の文学潮流から目を逸らし、泉鏡花や国木田独歩などの追憶的な作品を懐かしむこと
- ⑤ 出口のない暗鬱な気分閉ざされた現実から、夢にみちあふれた幻想世界へ移行すること

問四 傍線部分(2)「見誤ってならない」とあるが、ここでいう見誤りを具体例にそって解釈するとどのようなになるか。最も適当

なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

6。

- ① 永井荷風「狐」に描かれた既成の価値観への深い懐疑は、幼児の純真な眼によるものではないと捉えること
- ② 永井荷風「狐」には、父親に代表される既成価値に憧れる幼児の素直な心が描かれていると捉えること
- ③ 谷崎潤一郎「少年」に描かれた甘い官能的世界は、大人のひからび、こわばった感覚からでも窺い知ることができると捉えること
- ④ 谷崎潤一郎「少年」は、現在の生活に不満足な大人が憧れの目でみつめた懐しい子供たちのありさまのみが描かれていると捉えること
- ⑤ 永井荷風「狐」と谷崎潤一郎「少年」には、大人の経験的世界からの逃避に憧れた幼時体験が書かれていると捉えること

問五 空欄(A)〔二か所〕、(B)、(C)〔二か所〕に入る熟語として最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は

(A) 、(B) 、(C) 。

① 相対

② 絶対

③ 空洞

④ 硬直

⑤ 合理

⑥ 神秘

問六 空欄(3)、(6)に入る語として、最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(3) 、(6) 。

(3) ① しかし ② あるいは ③ さらに ④ たとえば ⑤ しかも

(6) ① だから ② しかも ③ いわば ④ だが ⑤ ただし

問七 傍線部分(4)「逢魔時(おうまがどき)」の類義語はどれか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

。

① 未明(みめい)

② 有明(ありあけ)

③ 入相(いりあい)

④ 白昼(はくちゆう)

⑤ 夜半(よわ)

問八

空欄(5)に入る語句として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 憧れ
- ② 不満
- ③ 弱い心
- ④ 幼児の怖れ
- ⑤ 人間以上の心

問九

空欄(7)に入る語句として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 日常的
- ② 理性的
- ③ 直覚的
- ④ 客観的
- ⑤ 抽象的

問十 傍線部分(8)「『思ひ出』の詩篇は日露戦後の状況に拮抗し得る現在性をかち得ていた」とはどのような意味か。最も適當なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 15。

① 白秋の幼時体験を元に作詩された『思ひ出』であるが、日露戦後の現況を見事に予見する詩篇であつたということ

② 現実世界に背をむけた追憶文学ではあるが、現実世界と同じような秘密に充ちた生氣あふれる世界を扱っているということ

③ 幼時の倒錯的な快感に根差した詩的記述は、時代が変化しても古びることのない普遍的な情感を描き切っているということ

④ 恐怖と恍惚の交錯した幼児期の世界を生き活きと描いた言語表現には、閉塞した現実におとらぬ実在感があつたということ

⑤ 『思ひ出』に展開された幼児の原初的な怖れは、強大化する国家権力の支配体制の恐怖と同等の迫力をもっているということ

問十一 本文の内容に合致するものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

① 将来の自己実現につながるような生のエネルギーに充ちた現在を生きていない人たちは、追憶文学を好んで読むことが多い

② 高村光太郎が評した「追憶は一種の避難所」とは、文芸の本質も同じく眼前の世界から一旦逃れるためにあるという指摘である

③ 追憶文学を読むことで習慣と経験にこわばった自我の堅い殻を打ち砕く時には、怖れや戦慄、さらにある種の寂しさのよ
うな情感をも伴うものである

④ たそがれの薄明りの彼方に幻視する神秘的な魔の妖しさによって、日常的な現実世界は色褪せ、記憶の彼方へと追いや
られてしまう

⑤ 日露戦後の底流にあった追憶文学は過ぎ去りし日を美しく描いたからこそ、内密な夢を育む大正文学を形成する基盤とな
り得た

この頁は白紙です

二次の文章を読み、後の問に答えなさい。

商品を販売する場合、相手にあった品物を薦めるのが基本である。男性に、婦人用の洋服を薦めるのは、多くの場合意味をなさない。

(中略)

相手の姿かたちを観察することによって、相手の欲しがるものを察して、販売に役立てることのできる機会は数多いし、われわれの生活のなかでも日常的に起こることである。しかし、性別や年齢、姿かたちで表されている買い手の趣味は、買い手にすでに備わってしまっているものである。相手に自分の趣味嗜好を伝える合図にあたる性別や年齢容姿は、かならずしも戦略的に選ばれているわけではない。

ところが、場合によっては、戦略的に相手にシグナル(合図)を送り、それによって自分の立場をより好ましいものにしようとする戦略的行動が効果をもつ。そのような戦略的行動をシグナリング (signaling) という。そのような戦略的シグナリングの例は、日常的に観察されているものに数多くあるのだが、それらの例においてシグナリングの効果が、なぜ、どのように、現れているのかを深く考えるためには、戦略的思考が必要である。

(中略)

シグナルの送り手の立場からすると、^(注)コミットメントの効果を高めるためには、費用のかかるシグナルを用いなければならない。このことから、⁽²⁾適切なコストがかかるシグナルを用いることで、コミットメントの効果が増大すると期待できることがある。

(中略)

⁽³⁾新聞、テレビなどのメディアを通じて広告をする意義は、単に製品情報を消費者に知らせるだけにとどまらない。広告やコマーシャルによって、製品の品質へのコミットメントの度合いが現れることに注意しなければならない。試行錯誤の段階の製品を、

大々的に宣伝して不具合が発覚した場合は目も当てられない。消費者はそう感じているからこそ、金のかかったテレビのコマーシャルで宣伝された商品により信頼感を抱くのである。

(中略)

⁽⁵⁾ シグナルにはコストがかからないと信頼されるコミットメントにつながる。しかし、コストのかかるシグナルを用いるというだけで、シグナリングの要点ではない。コミットメントをしている場合とそうでない場合に、同じシグナルを発生させるのにかかる相対的なコスト差がどのように認識されているのが本質的に重要である。もしシグナルの受け手が、品質にコミットメントをしていない者にとってはそのシグナルを送るのには多大なコストがかかったはずだと推論してくれるのならば、そのようなシグナルは絶対的なコストが低くても大きな効果を発揮するのである。

たとえば、同じシグナルでも、品質の高い商品を販売する人にはたやすく出せるが、品質の悪い商品を売る者にはコストが相対的に多くかかるとしよう。シグナルの受け手は、シグナルを見ただけではそれが品質に関する真の情報を伝えているかどうかはわからない。⁽⁶⁾ 、相対的なコストに大きな差があれば、シグナルの受け手は次のように推論するだろう。もしこれが品質の低い商品売りつけようとする者から発せられていたとするならば、そのシグナルを送るのには多大なコストがかかったはずだ。そこまでしてシグナルを出すであろうか。言い換えれば、シグナルを出している以上、それはそのシグナルを出すコストが相対的に小さいはずだ。つまり、シグナルは品質の高い製品を意味するに違いない。

(中略)

これまで述べてきた信頼できるシグナリングとコストの関係は、次の簡単な状況を考えてより深く理解できる。いま、買い手が定価7000円のある商品を手から買うかどうか決めようとしている。商品は売り手にとっては価値はない。買い手にとっては、もし商品が本物であれば1万円の価値があり、贗物にせならばまったく価値はないものとしよう。ここでは仮に本物と贗物と呼ぶが、買い手に合っているものを本物、合わないものを贗物と解釈してもよい。商品の質は売り手にはわかるが、買い手には見ただけではまったくわからず、購入後数日使用してみればじめて本物であるかどうかわかる。買い手は商品が贗物である可能性を

予期していて、商品が本物であるか贋物であるか半々の確率であると見積もっている。価格に関して交渉はできないため、買い手は売り手もつ商品を買うかどうかの決定だけをする。

もし、商品が本物であれば、それを買えば1万円と定価の7000円の差額3000円分が儲かる計算になるので、買い手は商品を買うべきである。一方、贋物の場合は無価値であるから、買えば定価の7000円がまるまる損害となるので、買うべきではない。しかし、買い手には品質がわからない。さて、買い手はこの商品を買うべきだろうか。

答えはNOである。商品の品質を自分で確かめられない以上、1万円か無価値かの平均を考えて、商品の価値は5000円程度だと考えるべきである。一方支払うべき価格は定価の7000円だから、買ってしまつてしまうと平均的に損をすることになるためだ。

一方、売り手が品質にコミットできれば、仮にそれに費用がかかっても、売買は成立する。たとえば、売り手は10000円のコストをかければ、信頼できる第三者によって、自分の取引する商品の品質を証明することができるでしょう。この場合、(A)の商品の売り手は、品質証明をすべきである。10000円の費用をかけても、品質を証明すれば買い手は買ってくれるため、70000円の売上が手に入るからである。

品質証明にかかるコストは直接価値を生み出さないため、経済的損失ではあるが、品質証明をしない限り買い手は買ってくれない。もし売り手が贋物を売ろうとしているならば、10000円のコストをかけて商品が贋物であることを証明するわけがない。したがって、品質証明がない商品に対しては、買い手は少なくとも確率0・5で品物は(B)だと判断するであろう。すると、商品の質を確かめられない場合と同じ理由で、買い手は商品を買わないはずだからである。この場合、品質保証というコストのかかるシグナルを戦略的に用いることによって、(C)の売り手は利益を得ることができるのである。

品質を直接証明できなくても、効果のあるシグナリングを行うことはできる。たとえば、売り手は商品をよりよく見せるための宣伝をすることができるでしょう。商品が本物であれば、宣伝にはさほど苦勞はしないため、かかる費用は10000円であるが、贋物をよく見せるためには80000円の費用がかかることがわかっているとしよう。この場合も、贋物の売り手は、宣伝をしてしまえば売れても値段は70000円なので儲からないから宣伝はせず、本物の売り手は宣伝をして、買い手はそれを信じて商品を購入

入する。賈物の売り手が宣伝をしない以上、本物の売り手が宣伝をして1000円のコストを被るのは経済的損失ではあるのだが、品質保証の場合と同じ理屈で、宣伝をしなければ買い手は買ってくれないので、これは必要なコストなのである。

返品を認めるというシグナルを使うと、この経済的損失は劇的に減少する可能性がある。たとえば商品が返品されたときには、代金の7000円を返却しなければならぬだけでなく、商品を再加工して再び売れる状態にするまでに費用が1000円かかるでしょう。仮に賈物を売りつけることに成功しても、数日後には確実に返品され結局は差し引き1000円の費用を被るため、賈物の売り手は返品を受けつけることはできない。したがって、⁸⁾買い手は返品が認められている場合には、商品は本物であると推論できるから、返品を受けつけられるのであれば、商品は本物であるとみなして買うことになる。本物の売り手は返品を受けつけることをコミットしても、実際には買い手は本物は返品しないので、返品を認めるといふシグナルは本物の売り手にとって、まったくコストはかからないのである。

(梶井厚志『戦略的思考の技術—ゲーム理論を实践する』問題作成上、一部を改変した)

(注) コミットメント 自分が将来に取る行動を表明し、それを確実に実行するという約束をすること

問一 傍線部分(1)「戦略的シグナリング」とあるが、筆者が戦略的シグナリングの具体例として紹介していないものを一つ選び、

マークしなさい。解答番号は 。

- ① 買い手の性別や年齢
- ② 新聞、テレビなどにおける広告
- ③ 商品の品質証明
- ④ 商品をよりよく見せるための宣伝
- ⑤ 商品の返品制度

問二 空欄(2)と空欄(6)に入る語の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① (2) さらに (6) あるいは
- ② (2) 逆に (6) つまり
- ③ (2) あえて (6) しかし
- ④ (2) しいて (6) しかも
- ⑤ (2) 特に (6) なぜなら

問三 傍線部分(3)「新聞、テレビなどのメディアを通じて広告をする意義」として不適当なものを一つ選び、マークしなさい。

解答番号は 。

- ① 売り手が製品の情報を消費者に知らせる
- ② 会社として製品の品質の高さにコミットしていることを示す
- ③ 開発中の製品があることを受け手にいち早く知らせる
- ④ 広告にお金がかかっていることを受け手に示す
- ⑤ 消費者に商品の品質への信頼感を抱かせる

問四 傍線部分(4)「目も当てられない」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 今後が心配で眠れない
- ② 見向きもされない
- ③ 温かいまなざしではみられない
- ④ 見るにたえない
- ⑤ 見守らずにいられない

問五 傍線部分(5)「シグナルにはコストがかからないと信頼されるコミットメントにつながる。しかし、コストのかかるシ

グナルを用いるということだけが、シグナリングの要点ではない」とあるが、シグナルとコストとコミットメントの関係について述べたものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 本当に高品質な商品ならシグナルを送るのも多大なコストがかかるはずだ、と受け手に認識されれば、絶対的なコストとは関係なくシグナルは効果があったと言える
- ② 商品の品質へのコミットメントの有無によって、同じシグナルを出すコストに差がある場合、受け手はシグナルから品質に関する真の情報を確実に得られる
- ③ 多大なコストをかけたシグナルは、必ずその受け手にその絶対的なコストの高さが伝わる。その結果、高品質な商品だけが受け手に信頼されるコミットメントを示すことができる
- ④ シグナルには必ず多大なコストをかけないと、受け手は品質にコミットしていると認識せず、高品質の商品だということも伝わらない
- ⑤ 品質にコミットしていない場合は、シグナルを送るのに多大なコストがかかるはずだ、と受け手に認識されれば、絶対的なコストが低くても信頼されるコミットメントにつながる

問六 空欄(A)～(C)に入る語の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| ① | (A) 本物 | (B) 贋物 | (C) 本物 |
| ② | (A) 贋物 | (B) 本物 | (C) 本物 |
| ③ | (A) 本物 | (B) 贋物 | (C) 贋物 |
| ④ | (A) 贋物 | (B) 本物 | (C) 贋物 |
| ⑤ | (A) 本物 | (B) 本物 | (C) 贋物 |

問七 傍線部分(7)「品質保証の場合と同じ理屈で、宣伝をしなければ買い手は買ってくれない」とあるが、本文で述べられてい

る状況において、宣伝されていない商品を買わない理由として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答

番号は 。

- ① 宣伝されていない商品はどれも贋物だと買い手は考えているから
- ② 買い手は、商品が本物かどうかということよりも、宣伝が行われているか否かを重要視しているから
- ③ 宣伝されていない商品は、コストをかけて宣伝するに値する品質をもたないと買い手は考えているから
- ④ 宣伝のない商品を買うことの損得を考えれば、買い手にとって不利な取引だとわかるから
- ⑤ 売り手が商品を宣伝しているという事実は、商品の品質をさらに高めてくれるはずだと買い手は考えるから

問八 傍線部分(8)「買い手は返品が認められている場合には、商品は本物であると推論できる」とあるが、その理由として最も

適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 返品を認めると買い手はその保証に安心して返品しなくなるから
- ② 賈物の売り手は、返品された商品の再加工にかかる費用を負担しないから
- ③ 返品を認めるといふシグナルには見えないコストがかかるから
- ④ 賈物の場合は返品を受けつくと売り手は経済的損失を被るから
- ⑤ 返品を受けつける商品は本物だと一般的に言われているから

問九 本文の内容に合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① 性別や年齢容姿は戦略的シグナリングとして働き、その結果、買い手は自分にあつた品物を勧めてもらえる可能性が高くなる

- ② 適切な費用をかけて売り手がシグナリングを行うと、品質へのコミットメントが受け手に伝わりやすくなる
- ③ 消費者は、売り手が広告にかけるコストによって、売り手の商品の品質へのコミットメントの度合いを推定する
- ④ シグナリングに多額のコストをかけるほど賈物が売れる確率が上がり、賈物の売り手は確実に利益が得られる
- ⑤ 商品の品質保証、商品をよりよく見せる宣伝、返品を認める方法のうち、商品の売上に最も効果があるのは返品を認める方法である

この頁は白紙です

以降は選択問題です。表紙の【表】の指示に従っていずれか一つを選択し解答してください。
問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
選択問題を二つ以上解答した場合、得点にはなりませんので十分注意してください。

三ア 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

ギリシヤからレトリックを相続した古代ローマは、それを組織的技術に仕上げ、その伝統を長くヨーロッパへ伝えた。そして中世からルネッサンスをへて近世にいたるころ、レトリックはみごとに精製された体系を誇るようになった。

が、それと同時に、長生きしすぎた技術体系の通例どおり、わずらわしい、あまりにも技巧的な、そのわりにすでに活力を失った、うるさい作文心得や規則集になっていった。本当はそうとばかりも言いきれないのだが、何となく一般にそう見えるような存在になっていた。

そして、レトリックの体系は徐々に消滅への道をあゆんでいった。いちおうの完成度を越えてしまったものがとかくたどりやすい、没落の坂を確実にくだっていく、そういう理由がレトリックがわにたしかにあったのである。

(中略)

二十世紀という時代を人々がレトリックなしでスタートしようとした、その理由の半分はたしかに「古典レトリック」のわにあった。その技術体系は、精密化すると同時にすでに自己矛盾⁽¹⁾におちいりはじめていたのだった。

元来レトリックは、常識的な作文の規則にいくらか違反しそうな表現を求めて発生したはずである。ときには文法にさからいかならない野心をもって登場したのだった。つまり、退屈きわまりない平凡な表現(言いかえれば正常な表現)のわく組みを破ることによって意表に出ようとする技術であり、発信者が受信者を驚かす戦術であった。そのねらいが説得にあるにしても、芸術性にあるにしても、である。

昔、開発期のレトリック研究者が発見し、おそらくは小躍り⁽²⁾したに相違ないものは、規則への違反のしかたにも規則性があるという重要な現象であった(これは、また、言語表現における《自由》⁽³⁾を浅薄に理解してレトリックと手を切った私たちが、あさばかに見落していたことでもある)。

規則性あるいは形式性に着目し、目を見はったレトリック研究者たちは、みごとに独創的な表現⁽⁴⁾(多くの卓越した文学作品や論

述)を集め、けんめいに分析し、そこから技術体系を組み立てていった。古典的名作の研究である。

そして、気がついたとき、模範的作品から抽出された理論は模範としての拘束力をもつはずだ……と錯覚するようになっていた。そして、ほれほれするほどに精製された古典レトリックは、かつて文法にさからったり文法をからかったりしていたことをけろりと忘れ、模範文法と並びきそって、作文を法的に支配しようとしていた。弾力性を身上としていた当のレトリックが、いつのまにか、石あたまの教師としてふるまいはじめた。⁵⁾やがて見捨てられることになるのも、当然といえば当然のなりゆきであった。

とは言え、⁶⁾老いた教師の学識を惜しげもなく捨て去り、そこから何ひとつ学ぶ必要はないとまで思い上がった、その愚行の責任の半分は(きつと半分以上は)二十世紀の生徒たち、私たちにある。

ものをその名で呼ぶ、という率直な表現の美德をおしえる教訓が、どの国にもある。愚かな私たちはそれを額面どおりに受け取ってしまったようである。何も、もってまわった、しゃれた言いまわしを工夫するにはおよばない。ものにはたいいてい本名があるから、妙に飾ろうとしないで、本名で呼ぶのがいい、……という、⁷⁾俗物的な耳にはいりやすい言語写実主義の教訓が、私たちの楽天的すぎた科学主義⁸⁾合理主義⁸⁾と、さらには女の厚化粧にだまされたくやしきまで一緒くたになって、私たちの言語感覚を狂わせたのである。

私たちはいつのまにか、言語を、じゅうぶんに便利な、コミュニケーションの道具だと信じはじめた。——作文も手紙も、心で書くものであるから、思ったことをすなおに正直に書けばよろしい、気取る必要はない——ことばは心を伝えるものであるから、形式にこだわるにはおよばず、思うままに書けばよろしい、古い形式などはどしどし捨てたほうがいい——といったぐいの、率直と自由、それぞれ四十五パーセントほどの真実をふくんだ教訓が奇妙に加算されて、私たちの頭を九十パーセントもつれさせた。その結果、言語は、技術的苦勞なしに、すなおに正直に忠実にものごとを記述しうる道具である、という恐るべきうそを私たちは信じ込んだのである。

森羅万象のうち、じつは本名をもたないもののほうがはるかに多く、辞書にのっている単語を辞書の意味どおりに使っただけでは、たかの知れた自分ひとりの気もちを正直に記述することすらできはしない、というわかりきった事実を、私たちはいつたい、

どうして忘れられたのだろう。本当は、人を言い負かすためだけでなく、ことばを飾るためでもなく、私たちの認識をできるだけありのままに表現するためにこそレトリックの技術が必要だったのに。

(佐藤信夫『レトリック感覚』問題作成上、一部を改変した)

問一 傍線部分(1)「自己矛盾」とあるが、これはどういうことか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

51。

- ① レトリックは説得を目的としたが、やがてそれは芸術を目的とするようになったこと
- ② レトリックは説得と芸術を目的としたが、やがてそれは率直と自由を目的とするようになったこと
- ③ レトリックは本来平凡な表現を打ち破るのを目的としたが、やがてそれは作文を拘束するようになったこと
- ④ レトリックは芸術を目的としたが、やがてそれは実用主義を目的とするようになったこと
- ⑤ レトリックは発信者が受信者を驚かすのを目的としたが、やがてそれは独創的な表現の技術体系の構築を目的とするようになったこと

問二 傍線部分(2)「小躍りした」とあるが、これはどのような状態か。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。

解答番号は 52。

- ① 愉快なとき
- ② 運動がしたくなるとき
- ③ 悲しいとき
- ④ 朗らかなとき
- ⑤ 喜んでいるとき

問三 傍線部分(3)「言語表現における《自由》を浅薄に理解して」とあるが、このような理解として不適当なものを一つ選び、

マークしなさい。解答番号は 。

- ① 率直かつ思いのままに表現する
- ② 辞書的な意味だけでは気持ちでは正直に表現できない
- ③ レトリックにとらわれずに表現する
- ④ 手紙は心で書くものである
- ⑤ 古い形式はどんどん捨てる

問四 傍線部分(4)「独創的な表現」とあるが、これはどのような表現か。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番

号は 。

- ① 率直な表現
- ② 言語写実主義にもとづく表現
- ③ 文法に忠実な表現
- ④ 規則に違反しそうな表現
- ⑤ レトリックを含まない表現

問五 傍線部分(5)「やがて見捨てられる」とあるが、その理由として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

55。

- ① 発信者が受信者を驚かしたから
- ② 文法規則に違反したから
- ③ 規則への違反のしかたにも規則性があったから
- ④ あまりにも技巧的で、独創的にすぎたから
- ⑤ 私たちが合理主義的にすぎたから

問六 傍線部分(6)「老いた教師の学識」が指すものとして最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

56。

- ① 精製された古典レトリック
- ② 卓越した文学作品
- ③ 退屈さわまりない平凡な表現
- ④ 模範文法
- ⑤ 弾力性のあるレトリック

問七 傍線部分(7)「俗物的な耳にはいりやすい」とあるが、これはどのような意味か。最も適当なものを一つ選び、マークしな

さい。解答番号は 。

- ① 合理主義的な
- ② くだらない
- ③ 説教じみた
- ④ はやり言葉のような
- ⑤ 大衆に理解されやすい

問八 空欄(8)に入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 人文主義
- ② 実用主義
- ③ 理想主義
- ④ 資本主義
- ⑤ 民主主義

問九

本文の内容に合致するものを三つ選び、マークしなさい。解答番号は 59 (解答欄一行に三つマークすること)。

- ① レトリックは自分の気持ちを伝えるために必要である
- ② レトリックは精製されていたが、作文を支配しようとして没落したので、それからは何も学ぶものはない
- ③ 古典レトリックは模範たろうとして、かえって力を失った
- ④ レトリックのマイナス面があまりにも大きかったので、人々がレトリックのプラス面を無視したのも当然である
- ⑤ 精製された古典レトリックは弾力性を欠いているが、科学主義をとりいれれば、それは現代でも復活することができる
- ⑥ 思ったことを技術的な苦勞をすることなく正直に書けば、自分の気持ちを伝えることができる
- ⑦ 世の中のものごとにはまだ名前のないものが多くあるので、辞書の言葉だけでは自分の気持ちを表すことはできない

この頁は白紙です

三イ 次の文章は『源氏物語』「柏木」の巻の一場面である。女三の宮と光源氏のあいだの子として生まれた、薫（実の父は柏木）の、五十日目の祝いの様子が語られる。これを読み、後の問に答えなさい。

(1) やよひになれば、空のけしきもものうららかにて、この君五十日のほどになりたまひて、いと白うつくしう、ほどよりは(注2)およすけて、物語などしたまふ。(注3)大殿渡りたまひて、「御心地はさはやかになりたまひにたりや。いでや、いとかひなくもはべるかな。例の御ありさまにてかく見なしたてまつらましかば、いかにうれしうはべら(注4)」。心憂く(注5)思し棄てけること」と、涙ぐみて恨みきこえたまふ。日々に渡りたまひて、今しも、やむごとなく限りなきさまにもてな(注6)しきこえたまふ。

(注5) 御五十日に餅まぬらせたまはむとて、(注7)かたちことなる御さまを、人々、いかになど聞こえやすらへば、院渡らせたまひて、「何か。女にもものしたまはばこそ、同じ筋にていま(注8)ましくもあらめ」とて、南面に小さき御座(注9)などよそひてまゐらせたまふ。御乳母いとほやかに装束きて、御前の物、色々を尽くしたる籠物(注10)、檜破子の心ばへどもを、内にも外にも、本の心を知らぬことなれば、とり散らし、(注11)何心もなきを、いと心苦しうまばゆきわざなりやと思す。

(注12) 宮も起きゐたまひて、御髪の毛のところせう(注13)広がりたるを、いと苦しと思して、額(注14)など撫でつけておはするに、几帳を引きやりてゐさせたまへば、いと恥づか(注15)しうて背きたまへる、いとど小さう細りたまひて、御髪は惜しみきこえて長うそぎたりければ、背後(注16)はことにけぢめも見えたまはぬほどなり。すぎすぎ見ゆる鈍色(注17)ども、黄がちなる今(注18)様色など着たまひて、まだありつかぬ(注19)御かたはら目、かくてしもうつくしき子どもの心地して、なまめか(注20)しうをかしげなり。

〔源氏物語〕「柏木」の巻

(注1) この君 薫のこと

(注2) およすけて 成長が早くて

(注3) 大殿渡りたまひて 光源氏が女三の宮のもとにおこしになつて

(注4) 例の御ありさま 尼姿ではない普通の姿。女三の宮は、薫の出生の秘密を光源氏に知られたため、急に出家した

(注5) 御五十日に餅まゐらせ 五十日の祝には、餅を赤子の口に含ませる儀式があった

(注6) かたちことなる御さま 尼姿

(注7) 同じ筋 女の子の母が尼姿ということ

(注8) 籠物 かごに入れたくたもの

(注9) 檜破子 ヒノキの材で作った折箱で、食べ物を入れる

(注10) 何心もなき 乳母や女房たちは、秘密を知らず屈託がない

(注11) まばゆき 見るに見かねる

(注12) 宮 女三の宮

(注13) すぎすぎ見ゆる鈍色 何枚も重ねた、濃いねずみ色の下着

(注14) 今様色 紅色あるいは紅梅色

(注15) 御かたはら目 女三の宮の、横顔の様子

問一 傍線部分(1)「やよひ」は、何月のことか。正しいものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 一月 ② 二月 ③ 三月 ④ 四月 ⑤ 五月

問二 空欄(2)に入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① ざる ② まし ③ める ④ らむ ⑤ けめ

問三 傍線部分(3)「今しも」の解釈として、最も適当なものをつ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 結婚した今になって
- ② 病状が悪化した今になって
- ③ 病気が治った今になって
- ④ 出家後の今になって
- ⑤ 年老いた今になって

問四 傍線部分(4)「同じ筋にいまいましくもあらめ」の後には、ある内容が省略されている。その内容として最も適当なもの

をつ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 男の子で頼もしい
- ② 男の子で幸いだ
- ③ 女の子で失望した
- ④ 女の子で不安だ
- ⑤ 男の子で困った

問五 傍線部分(5)「ありつかぬ」の解釈として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① きれいな衣装が似合わない
- ② おとなびた服装に慣れていない
- ③ 光源氏の妻としてふさわしくない
- ④ 子どもを産んだ母親らしくない
- ⑤ 尼としての姿が身につかない

問六 傍線部分(6)「なまめかしう」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① むじゃきで
- ② くるしげで
- ③ あでやかで
- ④ おとなびていて
- ⑤ たよりなくて

問七 波線部分 a「し」、b「思し棄て」、c「もてなし」、d「あ」、e「着」の主語はそれぞれ誰か。正しいものを一つずつ選び、マークしなさい。同じ番号を二度以上使ってもかまわない。解答番号は a 、b 、c 、

d 、e 。

- ① この君(薫)
- ② 大殿(院)
- ③ 宮(女三の宮)
- ④ 乳母
- ⑤ 人々

三ウ 次の文章を読み、後の問に答えなさい（設問の関係上、訓点を省いた部分がある）。

少^{わか}時^キ、所^レ居^ル書堂[、]前^ニ有^リ竹^{ちく}柏^{はく}雜^雑花[、]叢^{そう}生^{せい}滿^満庭^チ衆^衆鳥^鳥巢^{クフ}其^其上^ニ。
武^{注1}陽^陽君^君惡^{にく}殺^殺生^生兒^兒童^童婢^ひ僕^{ぼく}皆^皆不^不得^得捕^捕取^取鳥^鳥雀^雀。數^數年^年間^間、皆^皆巢^{クフ}
於^於低^低枝^枝、其^其叢^{ひな}可^可俯^ふ而^而窺^{うかが}也^也。又^又有^有桐^{とう}花^花鳳^{ほう}四^四五^五、日^日翔^と集^じ其^其間^間。
此^此鳥^鳥羽^羽毛^毛、至^至為^為珍^珍異^異難^難見^見、而^而能^能馴^{じゆん}擾^{ぜう}殊^殊不^不畏^畏人^人。閭^{注3}里^里間^間
見^見之^之、以^以為^為異^異事^事。此^此無^無他^他、不^不伎^伎之^之誠^誠、信^{注4}於^於異^異類^類也^也。有^有野^野老^老
言^言、「鳥^鳥雀^雀巢^{クフ}去^去人^人太^{はなは}遠^遠、則^則其^其子^子有^有蛇^蛇・鼠^{ねずみ}・狐^{きつね}・狸^{たぬき}・鴟^と鷹^び之^之憂^憂、人^人既^既
不^不殺^殺、則^則自^自近^{ツク}人^人者^者、欲^欲免^免此^此患^患也^也。」由^由是^是觀^観之^之、異^異時^時鳥^鳥雀^雀巢^{クフ}
不^不敢^敢近^近人^人者^者、以^以人^人為^為甚^{セバ}於^於蛇^蛇・鼠^鼠之^之類^類也^也。「苛^苛政^政猛^{ナリト}於^於虎^虎」、
信^{ナル}哉^哉。」^{注10}

〔蘇軾文集〕

(注1) 武陽君 筆者蘇軾の母の名

(注2) 桐花鳳 鳥の名

(注3) 閭里間 隣近所

(注4) 不佞之誠 害を加えないまごころ

問一 傍線部分(1)「不得捕取鳥雀」について、

- A この部分に付ける返り点として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① 不_レ得_二捕_一取_レ鳥_レ雀
② 不_三得_二捕_一取_三鳥_一雀_一
③ 不_レ得_レ捕_一取_二鳥_一雀_一
④ 不_下得_二捕_一取_上鳥_雀
⑤ 不_レ得_三捕_一取_三鳥_雀_一

B この部分ほどのような意味か。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 小鳥や雀を飼_{すずめ}うことができなかった
② 小鳥や雀を捕まえることができようか
③ 小鳥や雀を捕まえることが許されなかった
④ 小鳥や雀は逃げていって捕まえられなかった
⑤ 小鳥や雀は捕まえないことは認められなかった

問二 傍線部分(2)、(5)、(9)の「於」の用法はそれぞれ何か。最も適当なものを一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は

(2) 、(5) 、(9) 。

- ① 疑問 ② 起点 ③ 詠嘆 ④ 比較 ⑤ 順接 ⑥ 対象 ⑦ 場所 ⑧ 受動

問三

傍線部分(3)「殊不畏人」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 106。

- ① ここに住んでいる人間は、動物よりも小鳥や雀のことをより大切に扱ってくれるから
- ② ここに住んでいる人間は小鳥や雀に危害を加えないことを小鳥たちが知っているから
- ③ ここに住んでいる人間は小鳥や雀に餌を与えてくれることを小鳥たちが知っているから
- ④ この場所には小鳥や雀を天敵から守る蛇・鼠・狐・狸などの動物がたくさん住んでいるから
- ⑤ この場所にいると、小鳥や雀の天敵である蛇・鼠・狐・狸などの動物を人間が追い払ってくれるから

問四

傍線部分(4)「以為異事」とは具体的に何を指すか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 107。

- ① 小鳥や雀が人に懐いていて、その雛も容易に見ることができること
- ② たくさんの小鳥や雀が蛇や鼠などの動物と一緒に生活していること
- ③ 小鳥や雀は殺生を好まなかった筆者の母にだけは懐いていたこと
- ④ 筆者の家の庭にある樹木に、たくさんの鳥たちが巣を作っていること
- ⑤ 筆者の家の庭に飛んできた小鳥の羽はとても美しく、珍しいものであること

問五

傍線部分(6)「既」、(10)「哉」の読み方として、最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(6) 108、

(10) 109。

- (6) ① すでに ② やがて ③ つきて ④ すなわち ⑤ ことごとく
- (10) ① か ② や ③ なり ④ のみ ⑤ かな

問六 傍線部分(7)「欲免此患也」の書き下し文として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 此の患ひを欲するを免るるなり
- ② 此の免を患はんと欲すればなり
- ③ 此れ患はんと欲するを免るるなり
- ④ 此の患ひを免れんと欲すればなり
- ⑤ 此の患ひは免れんと欲するならんや

問七 傍線部分(8)「不敢近人者」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 人間が近づいていこうとしなかったのは
- ② 人間に近づいていこうとしなかったのは
- ③ 人間に近づいていこうとしないだろうか
- ④ 人の近くであえてしようとしなかったのは
- ⑤ 近くの人は無理をしようとしないのであるか

問八 本文の内容に合致するものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 人間は小鳥や雀に危害を加えるものであるから、小鳥や雀は危険を察知して絶対に人間に近づかない
- ② 人間が心を開いて危害を加えなければ、小鳥も蛇・鼠・狐・狸などの動物も、一緒に暮らすことができる
- ③ 小鳥や雀はよりひどい害を避けるものであるから、人間が危害を加えないと分かると、自然と懐いてくる
- ④ 小鳥や雀は人間は危害を加えるものと分かっているので、危険を承知で蛇・鼠・狐・狸などの動物と一緒にいる
- ⑤ 人間は小鳥や雀に危害を加えるものではあるが、他の場所にいるよりは安全なので、やむを得ず人家にやってくる

この頁は白紙です

この頁は白紙です

この頁は白紙です

この頁は白紙です